

# 夜の炊き出し活動がつなく、支援の輪

アバンギャルド

—『南山大学炊き出しサークル AVANTGARDE』—  
—『特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター』—

名古屋市内では毎日どこかで、ホームレスや生活が苦しい人に向けて炊き出しが行われている。今回木曜の夜に炊き出し活動があると聞いて若宮大通公園の小スポーツ広場に向かった。

広場には小さなライトに照らされたワゴン車が止められ、その前には100人くらいの人たちが列をなして並んでいる。19時を過ぎるとその列は動き始め、スタッフが一人ひとりに優しく声をかけながら温かいカレーライスを配っている。受け取った人の多くは中年以上の男性にみえる。それぞれ適当なところに座り、モクモクと食べたり、知り合いらしき人と話しながら食べたり、広場は賑やかになる。そんな広場の一角で、高齢の男性の話を親身になって聞いている人たちがいる。この日は炊き出し以外にも、無料で健康相談活動が行われており、これは専門職のボランティアが男性の症状を聞いているところだった。

## 学生が中心となる炊き出し活動

AVANTGARDEは21年前に南山大学の学生が炊き出しサークルとして立ち上げてから、今日まで学生が中心に活動を行ってきた。現在は南山大学の学生が5名、その他社会人や高校生などのボランティアを含めて10名が中心となって活動している。

配られる料理は東区にある教会「福信館」で作られる。教会で作った料理を教会関係者とサークルのメンバーで広場まで運び、炊き出しの準備を行う。毎回100食以上を用意するため、大変な作業だ。19時頃から配食を開始する。事前に整理券を配り、一人ずつ整理券を回収しながら食事を配る。1時間ほどで配り終わると、残ったご飯などはその場でパックに詰めて、希望者に渡している。

## かけがえのない経験を次の世代へ

「毎週末来るねって言われるとうれしいですね」と笑顔で話すのはAVANTGARDEの主幹・岩田早輪子さん。学業が忙しい中、毎週欠かさず炊き出し会場に顔を出している。岩田さんはたまたま体験で炊き出しに参加し、サークルのアットホームな雰囲気と炊き出しを利用する人とのコミュニケーションに魅力を感じ、1年生のころから活動を続け

ている。来年度からは、社会人として一步を踏み出す。社会に出る前に炊き出しに来る人はもちろん、一緒に活動した社会人や高校生との時間はかけがえのないものと言う。そして20年以上受け継がれてきた炊き出し活動を次の代にバトンを渡すため奮闘している。

## 炊き出しが居場所になれば

炊き出しに来る人の中には歯が悪い人もいるので、福神漬けを添えるかを気に掛けたり、毎週末来る人には名前であいさつをしたりと、丁寧に接することを心掛けていると言う。炊き出しを利用する人も、いろんな経験を積んで苦労している人が多い。人生の先輩として敬う姿勢で接するからこそ、炊き出しの場所には多くの人を訪れ、居場所となるのではないだろうか。

そんな炊き出しを利用する人は、ホームレスの人はもちろん、生活が困窮して食費も苦しい人、はたまた近くを通ったから来てみた人と、さまざまだ。ただ中には、体調が優れない人や支援が必要な人もやってくる。そうした人に対して、無料で健康相談や生活相談を行っているのが「NPO法人 ささしまサポートセンター」だ。



一人ひとりに声をかけながら温かいカレーを渡しているAVANTGARDEのメンバー



親身になって相談にのる横井さん

## 野宿を強いられる人に適切な支援を

1976年に名古屋駅で野宿している人たちにおにぎりを配ったのがささしまサポートセンターの始まり。その後ボランティアの医師らが中心となって無料診察などを行い、2014年に法人格を取得、生活保護をはじめとする福祉施策に適切につながるよう支援活動に取り組んでいる。炊き出し会場で行われる健康・生活相談は社会福祉士や医師のボランティアが診られる体制を整え、医療と生活の両面から支援を行っている。

相談活動を行っているささしまサポートセンターの横井久実子さんは「野宿生活から抜け出さない、困っていても相談できる家族も友達もいない、お金がなくて病院にも行けないなど、生きる上で大きな支障を抱えている人に寄り添いたい。だれでも巡り合せが悪ければ瀬戸際に立たされる」と活動の思いを語ってくれた。

炊き出しという現場は、居場所という側面とセーフティーネットの側面、両方を備えている。そしてこれは、あくまでも支援の入り口だということを忘れてはいけない。炊き出し時の路上相談だけでは十分でないことは往々にしてあり、その後継続して支援につなげていく体制にはまだまだ課題がある。

## ボランティアの必要性

両団体は課題として、ボランティアが定着しにくいと口を揃える。炊き出しや路上相談のボランティアは、地味で効果がわかりにくい活動のように思えるかもしれないが、これは少し生きにくい大人たちのための居場所支援、相談窓口だ。昨今、全国的に広まっている子ども食堂の大人版だと言えなくもない。ぜひ興味のある方は一度見学に来てみてはいかがだろうか。

## Information

南山大学炊き出しサークル  
AVANTGARDE

E-mail: avantgarde.nanzan@gmail.com

特定非営利活動法人  
ささしまサポートセンター

名古屋市市中村区靖国町1-94

(月・金曜日10:00~12:30、水曜日13:00~15:30)

TEL: 052-462-9325

FAX: 052-462-9326

E-mail: office@sasashima.info